

# 第14回 JIA 環境建築賞

公開審査会 11/30(土) 開場11:30

講演会 12/1(日) 開場12:30

## 公開審査会

日時：2013年 11月30日(土)  
12:00 ~ 17:00※

住宅建築部門、一般建築部門の順に応募者のプレゼンテーション、その後審査委員との質疑応答があります。最優秀賞・優秀賞・入賞の選定があり、本公開審査会の中で発表されます。(※終了時刻は延びる可能性があります)  
公開審査に進んだ応募者・作品(全12作品) ▶ 裏面へ

### 審査委員



小玉 祐一郎(委員長)  
神戸芸術工科大学



野原 文男  
朝日建設



宿谷 昌則  
東京都市大学



安田 幸一  
東京工業大学



中村 勉  
中村勉総合計画事務所

## 講演会

日時：2013年 12月1日(日)  
13:00 ~ 16:00

### 1. 住宅建築

#### ①「住まいから寒さ・暑さを取り除く」

—省エネルギーから生エネルギーへ/伝統の知恵に学ぶ 価値の創造—  
荒谷 登  
北海道大学名誉教授



#### ②「現地レポート：北海道の若手建築家住宅の今」(寺尾信子)

### 2. 建築のこれから

「エネルギー転換の将来を見据えて」荒谷先生のお話を伺う

鼎談 荒谷 登、野沢正光、宿谷昌則

## information

会 場：建築家会館 大ホール ▶ Map 裏面へ  
定 員：各100名(会場先着順)  
参加費：無料  
申 込：事前申込の必要はありません  
C P D：CPD 認定プログラム申請中

# 第14回 JIA 環境建築賞

## 公開審査会

11月30日(土) 12:00 ~ 17:00\*

\*終了時刻は延びる可能性もあります。

## 講演会

12月1日(日) 13:00 ~ 16:00

### JIA 環境建築賞 趣旨

環境に対する配慮は、確実に建築を変えつつあります。地球環境温暖化へ対応すべく、環境負荷の小さい建築が強く求められるとともに、新しい自然観や身体感覚に基づいた建築が求められています。3.11の東日本大震災と原発事故はこのような認識を一層強めるものでした。JIAでは、際限のないエネルギーと資源の供給を前提として発展した20世紀の都市・建築・コミュニティから、2050年の低炭素社会に向けたパラダイムシフトをめざして、提案を続けてきました。近未来の持続可能な社会の創造にむけて、建築家の役割はますます大きく、社会ストックや都市・地域の活性化なども焦眉の問題となっています。それに伴って、JIA環境建築賞の意義も変化していき、これまで以上に近未来の居住環境に対する提案が建築家に期待されています。

### 応募状況と現在までの審査状況

#### (1) 応募数

7月22日の締切日までに、住宅建築部門29点、一般建築部門26点、計55点が提出されました。公益社団法人化を機に応募資格はJIA会員・会員以外不問となりました。

#### (2) 第1次審査委員会

8月上旬の第1次審査委員会において現地審査の対象が選抜されました。住宅建築では29点中6点、一般建築では26点中6点、55点中12点が選ばれました。

#### (3) 現地審査

現地審査は、原則として審査委員2名(意匠・環境工学各1名)1チームが担当し、現地にて設計者から説明を受けます。公開審査会の開催までに全ての現地審査を終了する予定です。

#### (4) 公開審査会 ▼ 11月30日 12:00 ~ 17:00 (予定)

住宅建築部門、一般建築部門の順に応募者のプレゼンテーションがあり、審査委員との質疑応答が行われます。その後、最優秀賞・優秀賞・入賞の選定があり、公開審査会の中で発表されます。

#### 1. 挨拶

#### 2. JIA 環境データシート分析報告 (JIA 環境建築賞タスクフォース)

#### 3. 住宅建築部門 6 作品 + 質疑応答

#### 4. 一般建築部門 6 作品 + 質疑応答

#### 5. 公開審査

#### 6. 結果発表

#### 住宅建築部門 6 作品 (作品名/応募者/所属)

ステップテラスの家 La Casa della Terrazza Scalinata / 丸子淳 / mcja

川上の離家 / 田中直樹 / 伊達な建築研究所

House-M / 竹内昌義 / 樺みかんぐみ

古村使いまわしによる「古さこそモダンな家・K邸」 / 松下重雄 / ぬみすゞ設計

長屋門の家 / 飯島洋省 / 樺飯島洋省 and HAND 建築設計事務所

土間のチカラ / 郡裕美 / スタジオ宙

#### 一般建築部門 6 作品 (作品名/応募者/所属)

埼玉県東部地域振興ふれあい拠点施設 / 安田俊也 / 山下設計

第一生命新大井事業所 / 石川修次 / 樺竹中工務店

神戸ドイツ学院・ヨーロッパンスクール / 岩村和夫 / 樺岩村アトリエ

Peanuts / 前田圭介 / UID

帝京大学小学校 / 小泉治 / 樺日本設計

秘密のクリ園 / 高橋彰子 / enne

### 講演会 趣旨

今年度は住宅建築部門29点、一般建築部門26点、計55点の応募図書が提出されました。惜しくも選にもれた40点あまりの作品の中にも優れた作品が多数ありました。来年度、第15回 JIA 環境建築賞応募に向けてステップアップするための研究の場を「講演会」として設けることと致しました。

### 講演会 ▼ 12月1日 13:00 ~ 16:00

#### 1. 住宅建築

「JIA 建築家大会 2013 北海道」が盛り沢山の充実した内容で開催されました。その北海道から主として住まいと環境についてのメッセージと現地の取組について学びます。

#### ① 「住まいから寒さ・暑さを取り除く」 ▼ 13:05 ~ 14:05

一省エネルギーから省エネルギーへ / 伝統の知恵に学ぶ 価値の創造

**荒谷 登** 北海道大学名誉教授  
北海道生まれ。1956年北海道大学工学部建築工学科卒業後、大成建設勤務。1961年同大学修士課程修了後、同大学工学部講師、助教授、教授として務める。1997年同大学名誉教授、メノビレッジ長沼に参画。現在に至る。主な受賞・受章に、第8回空気調和・衛生工学会賞「住宅団地の集中暖房」(1969)、日本建築学会賞「住居の熱環境計画への研究」(1976)、北海道新聞文化賞「寒地住宅の熱環境研究」(1997)、日本建築家協会北海道支部キタクオブシ賞(2011)、瑞宝中綬章(2013)。本講演参考図書「住まいから寒さ・暑さを取り除く」(2013 杉国社)

#### ② 現地レポート ▼ 14:05 ~ 14:20

「北海道の若手建築家住宅の今」 寺尾信子

旧荒谷邸の他、若手建築家の自邸住宅作品について、9月のJIA北海道大会に先立つイベント参加者が見学の報告を致します。

#### 2. 建築のこれから ▼ 14:30 ~ 16:00

「エネルギー転換の将来を見据えて」

荒谷登、野沢正光、菅谷昌則



Masamichi Nozawa Masamichi Nozawa

2011年3月12日に起きた原発事故は、梅原猛(哲学者)が「文明災」と評するように、現代の技術文明を根底から問わねばならないほど衝撃的なことでした。このことは、日本のみでなく、産業革命以来の文明のありように警告を発するものです。この深刻な事態のなかで、政治、経済、社会等あらゆる領域で持続可能性が問われています。北海道で深く環境建築のありようを研究されて来られた荒谷登先生を囲んでの鼎談となります。

### お問い合わせ

(公社)日本建築家協会 担当:北沢  
tel: 03-3408-7125 fax: 03-3408-7129  
email: skitazawa@jia.or.jp



The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

### 会場

建築家会館 大ホール  
(東京都渋谷区神宮前 2-3-16)

地下鉄: 銀座線外苑前駅 ▶徒歩約5分

JR線: 銀禧線千駄ヶ谷駅 ▶徒歩約10分

銀禧線千駄ヶ谷駅 ▶No.77 目黒行き

▶「神宮前二丁目」下車

▶徒歩1分

\*会場には駐車場がありません。

